

いいたて

令和元年11月号
No.669

11



報告
台風 19 号村内被害速報

特集
いいたてマップ 2019



大いなる田舎
までいライフ
いいたて



報告

令和元年台風19号 村内被害速報

「令和元年台風第19号」は、10月12日に静岡県伊豆半島から本州に上陸し、勢力を保ったまま、13日にかけて、東海地方、関東甲信越地方、東北地方を北上。各地で、観測史上最大の降水量を記録し、甚大な被害をもたらしました。村内では、12日午後から風雨が強まり、河川や農地、道路、家屋等に多数の被害が発生。さらには、冠水した道路を通行していたとみられる川俣町の男性1人が亡くなり、大倉地区では長期にわたり断水が続きました。村内の被害状況等について、10月23日現在の集計をもとに報告します。

経過

村は、10月12日の午後1時に、飯館村災害対策本部を設置。同時に、避難所（村役場及びビレッジハウス）を開設しました。大倉集会所に自主避難した人を合わせて18人が、避難所で一夜を過ごしました。また、12日の夜には、大倉地区で断水が発生。村は、明けて13日から、給水を開始しました。給水には、災害派遣の自衛隊も協力しました。

13日は、深谷地区で行方不明者の捜索も行われました。警察の要請を受けて、同日午後から、役場職員も捜索に協力。しかし発見には至らず、翌14日は、村の消防団員39人も加わって捜索が行われ、村の消防団員が排水路で行方不明者のご遺体を発見しました。

また発災時から、職員が村内のパトロールを行い、被害状況の確認を行っています。災害対策本部は23日の会議をもって解散しましたが、復旧に向けた取り組みは長期化する見通しです。村は、いち早く専決処分約2億7千万円の補正予算を組み、災害対応にあたっています。



飯館きっての老舗「ゑびす庵」。「気楽に集まって話せる場所にしたい」と一昨年から村内で営業しています。自慢の手打ちうどんの各種メニューの他、カツ丼や焼き魚定食などの丼・定食類もあります。予約があれば夜の宴会もOKです。



ゑびす庵うどん(1,100円)
食べごたえのあるエビ天(しかも中のエビはプリプリ!)とふわふわ卵、さらにはキノコや野菜も乗った豪華版。手打ちのうどんとやさしいつゆを、それぞれの具材が引き立てる味わい深い一品です。他のメニューのごひいきさんも、ぜひ一度お試しを!

手打ちうどんの店
ゑびす庵

飯樋字町374-1
☎0244-43-2018

営業時間: 午前11時～午後3時
定休日: 毎週火曜日

野菜たっぷりの「五目うどん」「肉うどん」「鍋焼きうどん」など、これからの季節にますますおいしいあったかメニューがたくさんあります。



CONTENTS 目次

- 3 報告のページ 台風19号村内被害速報
- 6 お知らせのページ この秋の農業トピックス
- 8 教育委員会NEWS! 説明会Q&A
- 10 報告のページ 飯館村表彰式
- 11 特集 いいたてマップ2019 ※取り外して使えます
- 15 教育のページ 小学校の特別授業
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 そのころはっ ほか
- 20 おしらせのページ 10月のできごと ほか
- 21 入札結果
- 22 きてみて /ラオス通信。
- 23 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

昨年福島市から村に嫁いだ長正景子さん(大久保・外内)と長男の桜空くん(5か月)です。近くに住む方から「お散歩している2人の姿がほほえましくて元気をもらっているんですよ」と聞き、近所の畑で、撮影モデルをお願いしました。



●表紙のおはなし●

※台風19号被災の影響でレギュラーコーナーの一部をお休みします。

大倉地区（土砂の流出により破損し露出した水道管）



前田地区



被害

飯館観測所で、10月11日から13日の3日間に観測された総雨量は、例年1か月分の降水量を越える346mmを記録しました。その豪雨の影響で、河川が増水し、道路の冠水、農地の浸水などが相次ぎ、各地で土砂崩れも発生しました。県道12号線（原町川俣線）が八木沢地区で陥没のため通行止めとなった（現在は解消）のをはじめ、県道・村道でも多くの損壊が確認されています。

村の被害状況 ※10月23日時点

- 人的被害 死亡者1名（川俣町の住民）
- 家屋（建物）及び家屋周辺の被害
 - 被害報告によるもの…床上浸水2件、床下浸水3件
 - 見守り隊の現地確認によるもの…被害戸数111戸（宅地・昇口等の崩落被害等）
- 水道施設 飯館簡易水道施設4か所、大倉簡易水道施設3か所
- 村道 138か所（道路陥没、道路決壊等）
 - ※通行止め村道・5路線
 - （佐須大倉線・小滝大倉線・北ノ坂湯舟線・渡戸前田線・小宮風兼線）
- 普通河川 2か所
- 農業関係 水田・畑等 219か所
 - 作物被害 5.3ha（水稲、飼料米、ソバ等）
 - 施設等被害 2件（栽培ハウス1棟、ポンプ3台）
- 林業関係 林道 13路線

10月23日現在、村全体の被害額は、約12億円にのぼると見込まれています。

関沢地区 榎ノ橋付近（新田川・13日朝）



支援

「宿泊体験館きこり」は、大倉地区はもとより、相馬広域で断水になっている地区の方を対象に、日帰り入浴を無料で利用できるようにしました。また、各方面から、保存飲料水のご支援をいただき、断水した大倉地区に配付をさせていただきました。ご支援ご協力を、ありがとうございました。



百目木比曽線

佐須地区



詳しい被害状況など、今後の集計によるものは、次号以降の広報で引き続きお知らせします。なお、台風被害に関するお問い合わせやご相談は、総務課総務係までお寄せください。

総務課総務係 ☎0244-42-1611

ヤマヒト事業 今年度の活動をスタート

深谷行政区の有志のグループ「フォレいいたて」が、3年目となる「ヤマヒト事業」の活動をスタートさせました。「ヤマヒト事業」の正式名称は、「ヤマとヒトの健康づくり事業」です。里山再生の活動と、健康増進の取り組みを組み合わせ、「ヤマ」と「ヒト」を同時に元気にしていこうというユニークな事業です。

「フォレいいたて」は、「村民の森あいの沢」で、週に1回、下刈りや落ち葉かき、枯れ枝の集積などを行い、一帯の環境整備に汗を流します。また、毎回、活動の前に、血圧測定や健康観察を行い記録をする他、健康福祉課が健康講話などを企画する回も設けられます。

復興対策課農政第一係では、この「ヤマヒト事業」を活用する団体を募集しています(今年度分は終了)。詳しくは、同係まで、お問い合わせください。



(上)保健師が血圧を測定し健康状態を確認。(下)初回の10月3日は、全員で現地を歩き活動内容を検討しました。



13区営農組合 法人となり本格始動

上飯樋地区で、農地を借り上げ、WCS※や牧草などを生産する「13区営農組合」が、10月に法人化の手続きを済ませて、本格的に活動を始めました。

同組合では、これまで整備を進めてきた農地を耕起し、堆肥を入れて、来春からのWCSの生産に向け、準備を進めています。この秋は、ナタネや牧草の種をまき、来年度の活動につないでいくということです。



地区と協力し農地保全に取り組んできました(7月撮影)



台風19号の影響により、村内の農地や農業用ハウスの一部に被害がありました。また、収穫前の水田やソバ畑の一部では、倒伏の被害もありました。農政第一係では、被害状況を集約し、相談も受け付けています。

問 農政第一係
☎ 0244-42-1621

※WCS=ホールクロップサイレージの略

新そばの季節

今年、ソバ畑も、多くの地域につくられました。前田地区の「前田明神そば生産組合」が生産したソバ粉は、この秋、道の駅などで販売される予定です。



村の農業委員会(菅野啓一会長/比叢)が協力する「東大むら塾」のソバ畑。10月9日に学生らが収穫作業を行いました。このソバの一部は、農業委員会主催の「農業者等との意見交換会」で手打ちそばとして振る舞われます。※10月24日時点の予定

いいたての花 全国に向けPR

カスミソウ、リンドウ、トルコギキョウ、アルストロメリアなど、さまざまな品種の花が、村内で栽培されています。市場で評価され、高価格で取り引きされる例も増えました。10月には東京での催しに村が出展し、「いいたての花」の品質をPRしました。※P20に記事



花き農家の協力のもと「よい仕事おこし」フェアに出展しました。写真は高橋日出夫さん(関根・松塚)のアルストロメリアの収穫作業。

村民の新たな取り組み 各地からの視察に対応

関根松塚

地区内で農地を使わない人はどんどん貸してと話しています。「災い転じて福となす」気持ちで、農地の集約も進めていきたいです。



水田放牧について説明する山田猛史さん(関根・松塚)

村内のさまざまな取り組みを視察したいという申し入れが相次いでいます。9月27日には、「環境経済政策学会」が来村し、関根・松塚地区で、山田猛史さんの水田放牧、大久保・外内地区で、地域住民によるエゴマ栽培及び福島大学の実証栽培を視察しました。多様な視察の受け入れには、多くの農家の皆さんに協力をいただいています。

大久保外内

エゴマをはじめ収穫後の雑穀は手作業で根気よく処理します。高齢者ならではのいな仕事でよい製品ができると思いますよ。



大久保・外内地区の取り組みを紹介する長正増夫行政区長

お寄せいただいた ご質問・ご意見に お答えします

説明会Q&A

義務教育学校開校に関する第2回住民説明会(こども園保護者説明会・意見交換会)を9月27日に開催しました。説明会には、保護者をはじめ40名の皆様に出席いただき、質疑や意見交換を行いました。説明会でいただいた意見や、説明会後に寄せられた質問や意見について、以下のとおりお答えいたします。

Q. 支援が必要な児童の放課後サービスを検討して欲しい。



A. ご要望の放課後等ディサービス事業については、施設の整備や指導員・療法士等の人的体制の整備等、課題が多くありますので、調査・検討させていただきたいと思えます。

Q. 他町村にない特色ある教育、学校給食のアレルゲン対応等の取組みをして欲しい。種々の対応が、村の学校に通学させるかどうか、判断の一つになると思う。



A. 食物アレルギーをお持ちのお子さんには同じメニューのアレルゲン除去食を提供しています。アレルギーの症状は命に関わる場合もあるので、今後も、使用する食材の確認をていねいに行っていきます。

現在、義務教育学校の教育課程を協議中ですが、今後、協議した内容については、保護者及び地域の皆様にお示しし、皆さんと義務教育学校の魅力を共有したいと考えています。新しい学習指導要領の大きな柱に「社会に開かれた教育課程の実現」があります。社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むため、地域の力を生かす学校、地域に貢献する魅力ある学校づくりに努めていきます。

Q. 途中で住民票(現住所)が変わった場合、村の学校に通い続けることは可能か。



A. 住民票を異動した場合には、異動した市町村教育委員会と協議を行い、保護者の意向に沿って対応していきます。

Q. 子どもたちの体力づくりのため、中学校のバドミントン部だけでなく、小学生から放課後のスポーツクラブのような活動が必要ではないか。



A. 義務教育学校になることを生かし、9年間を見通した体育全体計画を立て、系統的・計画的に体力の向上を図ります。また、小学校の高学年から部活動に希望参加できることとし、さらに体力の向上を図ります。放課後のスポーツクラブ設置については、外部関係機関の協力・連携が必要となってくるので、今後協力していただける関係機関の調査も含め検討します。

ご質問・ご意見は、教育委員会まで

問 飯舘村教育委員会

☎ 0244-42-1631



Q. 中1ギャップ(※)の解消等、義務教育学校に期待したい。卒業後も先輩・後輩関係が築けるか不安だ。

※一部の児童が、小学校から中学1年生に進級した際に被る、心理や学問、文化的ギャップと、それによるショックのこと。

A. 現在は各学級が少人数であるため、担任がきめ細かに一人ひとりを見取り、学級全員で仲良くできる働きかけと環境づくりをしています。今後は義務教育学校の利点を生かす、縦割り活動の機会を充実させることで、学年の枠を越えて様々な児童生徒が仲良く活動できる機会を増やします。さらに、他校との交流活動を継続して行うことで同年代の多くの児童生徒と関わる機会を設定していきます。

Q. 9学年になると、慣れが出てくると思う。仲の良いグループができて、グループに入れない、人見知りが増えたりするのではないか。

Q. 他町村の児童生徒との交流はどうなるのか。



Q. 養護教諭の配置はどうなるのか。



A. 養護教諭の配置については、前期課程(小学校に相当)と後期課程(中学校に相当)に各1名配置される見込みです。

特集

いいたてマップ 2019



までのいの村に、ようこそ！

広報でお伝えしてきた
さまざまなおスポットを
1枚の地図にまとめました。
2019年10月現在のの
村めぐりのマップです。
広報から取り出して
使うこともできます。
ぜひご利用ください。



報告のページ



表彰式は、9月30日、歴代の受賞者や来賓、関係者が出席し、交流センター「ふれ愛館」で行われました。

令和元年度の表彰を受けた、特別功労表彰1人、功労表彰5人の方をご紹介します。
この表彰は、村が、表彰条例に基づき、村の伸展に貢献された方を表彰するものです。表彰式は、毎年「村民の日」に合わせて行われています。



功労表彰

菅野 康雄さん
(関根・松塚)

飯舘村固定資産評価審査
委員12年4月



功労表彰

西尾 ツネさん
(二枚橋・須萱)

飯舘村民生児童委員15年
1月・国民健康保険運営
協議会委員18年



特別功労表彰

高野 京子さん
(大倉)

飯舘村選挙管理委員会委
員20年・うち選挙管理委
員長4年



功労表彰

鳴原 三枝子さん
(長泥)

飯舘村選挙管理委員会委
員12年



功労表彰

須和 正則さん
(関沢)

飯舘村消防団団員32年



功労表彰

赤石澤 備さん
(上飯樋)

飯舘村固定資産評価審査
委員12年



秋の真野川溪谷



夏の明神岳



宿泊体験館きこり



村民の森あいの沢・あいの浮橋



大雷神社の桜並木



大火山ツツジの森



飯館復興の桜

台風被害などによる通行止めがある他、帰還困難区域には立ち入り制限があります。お出かけの際は最新の交通情報をご確認ください。

沿道のアジサイや庭先の花々など村内には有名無名の花の見所が他にもたくさん！出会いを楽しんでください。



秋の真野川溪谷



夏のはやま湖



交流センター「ふれ愛館」



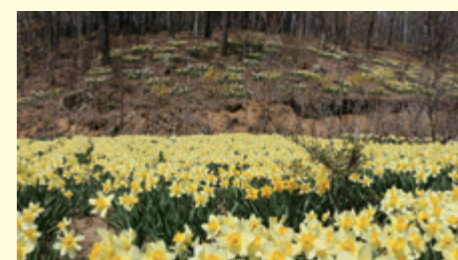
学校エリア(右)といいたてスポーツ公園



小中学校の校舎と前庭



秋の野手神



春のマキバノハナソノ

小学校の
特別授業を
紹介します!

村に水族館がやってきた!



10月2日、小学校に、「アクアマリンふくしま」(いわき市)から移動水族館車アクアラバンが来校し、全校児童が福島沖に住む水の生き物などに触れました。トラックに積まれた水槽には、サメやウニ、ヒトデなどが入っており、児童が直接触れて感触を確かめていました。白戸凌駕さん(6年生)は、「生きているウニに初めて触りました。トゲトゲしていました」と興奮気味に感想を話しました。



飼育員からタツノオトシゴの体の仕組みについて聞きました

刈った稲を
自然乾燥させる
「はせがけ」も
体験しました



10月10日、草野・飯樋・白石小学校の全校児童が、村内の水田で稲刈りを体験しました。震災後に村内で行ったのは、昨年に続き2回目。児童は、地元農家や学校ボランティアの皆さんの協力を得ながら、佐藤博さん(二枚橋・須萱)が所有する水田で、鎌を手に稲刈りを行いました。児童は、村民から「1年に1回の収穫だから、大事に丁寧に」と声をかけられながら、実りの秋を体感していました。

小学生が稲刈り体験

小学校の
特別授業を
紹介します!



● 紹介施設メモ ● ※10月24日現在の情報です

宿泊体験館きこり

深谷字市沢166-6
☎0244-42-1012(電話受付午前9時~午後6時)
※宿泊は希望日2日前の午前中までに予約
日帰り入浴 午前10時~午後6時(最終受付午後5時30分)
イオラ(岩盤浴) 午前10時30分~午後5時30分
(最終受付午後4時30分)



宿泊体験館きこり

いいたて村の道の駅までい館

深谷字前12-1
☎0244-42-1080
(11月~2月)午前10時~午後5時
(3月~10月)午前10時~午後6時
定休日:毎週水曜日
※公衆トイレは無休・24時間利用できます
※併設のコンビニは無休・午前6時~午後8時



道の駅までい館

いいたてスポーツ公園

伊丹沢字山田380番地
☎0244-42-0152
開館時間:午前9時~午後9時
※利用申し込みがない平日午後5時15分以降は閉館
休館日:年末年始
※土・日曜日、祝日および平日の午後5時15分以降については、事前予約がある場合のみ、自主管理にて利用が可能。予約がない場合は休館



あびす庵

手打ちうどんの店 あびす庵

飯樋字町374-1
☎0244-43-2018
午前11時~午後3時
定休日:毎週火曜日



あまぐれ茶屋ちえこ

あまぐれ茶屋ちえこ

佐須字佐須200
☎0244-42-1303/080-5551-8749
午前11時~午後3時
営業日:火・水・木曜日※その他は要予約

刃物の館やすらぎ工房 飯館工場

草野字大師堂133-37
☎0244-42-0333
午前10時~午後5時
不定休



やすらぎ工房

山津見神社(オオカミ天井絵)

佐須字虎捕266
☎0244-42-0846
(社務所は午前9時~午後5時で火曜日はお休み)
自由見学ができます



山津見神社

移住者の皆さんが集いました モチヨルバルで交流



ハロウィンパーティ風に飾られた会場。写真は個性豊かな近況報告のリレーが続いた一場面です

10月5日、交流センター「ふれ愛館」で、飯館村地域おこし協力隊の松本奈々さん(深谷)が2回目の「モチヨルバル」を開きました。今回は、移住者の皆さんが、「持ち寄り」をしながら交流するという企画。村の移住相談室との共催です。当日は、震災後に村へ移住した17人が集まり、それぞれ自己紹介や近況報告をしながら、会話と食事を楽しみました。また、菅野村長も出席し、改めて歓迎の言葉を述べて参加者と交流。参加者同士も情報を共有しながら、和やかな時間を過ごしました。

認知症への理解を深めて 支える人をみんなで支えよう

9月27日、交流センター「ふれ愛館」で、「認知症サポーター養成講座」を開きました。講座では、郡山市医療介護病院看護部長の宗形初枝さんが講師を務め、認知症という病気の成り立ちや、患者との接し方などについて講演。「村には支え合う暮らしが備わっています。“認知症の方を支える家族”を支えるのが地域です」と、周囲の理解・協力の大切さも伝えました。この日は引き続き、宗形さんも加わって、認知症の方を支える家族が思い語り合う「ゆずカフェ」も開かれました。



村民と一緒に、村内事業者からの出席者も受講しました。円内は養成講座・講師の宗形さん

飯館村消防団 秋季検閲式 団員72人が集結しました



消防団員らが隊列をつくり、検閲官を務める菅野村長、消防団幹部が観閲を行いました

10月6日、飯館村消防団の秋季検閲式が行われました。会場は、雨天により、消防飯館分署前庭から、飯館中学校体育館に変更されました。式には、消防団員をはじめ、女性消防隊、役場消防隊の合わせて72人が参加しました。団員らは、機敏に隊列を作り、引き締まった表情で点検を受けました。また、高野進団長(八木沢・芦原)らが訓示し、村民の安全な暮らしを守るため、防火・防災に努めることを申し合わせました。式の最後には、団員の功績を讃える表彰も行いました。

賑わいづくり検討委員会 ワークショップを開催

役場の若手職員らでつくる「賑わいづくり検討委員会」は、今年7月から活動しています。9月29日には、交流センター「ふれ愛館」で、「第1回賑わいづくりワークショップ」を開きました。ワークショップでは、グループに分かれて、「スポーツ×村にあるものを活用」「産業×自然」「観光×新たな体験」をテーマに、自由な発想で話し合いました。発表では、「農業とスポーツを組み合わせた競技をつくらう」「アニメ映画をつくり、村をその聖地にしよう」など、多彩なアイデアが飛び交いました。



ワークショップに参加したのは、村内事業者・移住者・中学生に委員会のメンバーを加えた29人

男性のみでわいわいと 料理と花の講座を楽しみました



自宅周辺一帯に「マキバノハナゾノ」をつくる大久保さん(中央奥の左側)が講師を務めました

10月16日、「相馬広域こころのケアセンターなごみ」が主催する「第2回男性のつどいin飯館」が、交流センター「ふれ愛館」で開催され、村内在住の男性が集まりました。午前中は、おにぎりや豚汁の調理に、スタッフを含めて男性のみで挑戦し、出来上がった料理をみんなでわいわいと味わいました。午後からは今回のつどいの参加者の一人である大久保金一さん(小宮)に講師となってもらい、花の寄せ植えと冬でも枯らさない花の育て方について学びました。

「村民の日」恒例の牛丼給食 園児が“までい牛”を味わいました

村の誕生日で「村民の日」にあたる9月30日、「までいの里のこども園」に「までい牛」の牛丼給食が登場しました。小林将男さん(関沢)が千葉県山武市で育てる「までい牛」は、飯館牛の血統をつなぐ和牛です。小林さんは、台風15号で被災したばかりでしたが、園の給食においしい牛肉を提供していただきました。子ども達は、先生方から、震災前の村でたくさんの牛が育てられていたこと、牛丼給食が村の誕生日の特別メニューであることなどを聞き、うれしそうに牛丼を味わいました。



甘い脂の牛肉に舌鼓。「おいしい!」「また食べたいな」

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#6



庭を埋め尽くす季節の花々
徳子さんの花束は道の駅の人気商品



今日も一日
がんばったよ
コロ!



お散歩
楽しい♡

菅野 徳子 さん
関根・松塚

カゴに花をつけて、急な坂道をモノとせずに走っていく1台の自転車！しかも伴走するのは、フワフワのしっぽを揺らすかわいいワンちゃんです。思わず撮影を申し込みました。

夕暮れ時の村内を颯爽とめぐっていたのは、菅野徳子さんでした。帰村後、カスミンソウの栽培・出荷に挑戦し、道の駅の直売コーナーにも、彩り豊かな季節の花を出品しています。家族の協力はあるもの

の、フレッシュな花を出荷するシーズンには、毎日が忙し。合間を縫って、愛犬コロの散歩に出かけます。ただしコロは、地区を一周するアクティブなお散歩は、実はイマイチで（のんびり歩くのが好き）、伸び縮するリードが出てくると、「ええええええ：今日は走るんですかあ：」と言いたげなリアクション。それでも出発すれば、はずむように駆け出し、徳子さんを独り占めして、とつても満足そうなコロでした。

話題の
パレット

身近な話題を
お寄せください
☎0244-42-1613

10月6日、飯樋復興有志の会（荒利喜会長/飯樋町）主催の「山中郷ウォークラリー」が行われ、多数の参加者が、村の歴史に詳しい案内人の解説を聞きながら、戦場跡や陣屋跡、塩の道などをめぐりました。



飯曾小唄を参加者と
一緒に歌いました。



ウォークラリー後の
交流会。コーラス、
手踊り、フラダンス
などのステージも。



新著「福島県飯館村・子安延命地蔵尊—現代へのメッセージを読み解く」を8月に出版した飯樋町出身の佐藤昌明さん。会場で希望の人に本をプレゼントしました。



“ほっこりレストラン”を開店
新宿調理師専門学校

10月11日、「いいいたて村の道の駅までい館」のイベント広場で、新宿調理師専門学校（東京都）が「2日限りのほっこりレストラン」を開きました。

同校の料理の贈り物は4年連続。「飯館村を応援したい。まていな心を共有したい」と、同校の上神田梅雄校長が、在校生や職員と共に、手づくりの料理を村に届けてくださっています。今年も、同校伝統の「海軍カレー」をはじめ、「サバの味噌煮井」「麻婆茄子井」の3つのメニュー計600食を、元気な笑顔で来場者に振る舞ってくださいました。

サバの味噌煮井と
野菜けんちん汁



たくさんの笑顔が
交わされました。右の
写真の右から2番目
が上神田校長



グラウンド・ゴルフで
和やかに交流。親睦
会は、宿泊体験館さ
こいで行われました。



いいいたてスポーツ公
園屋内運動場にて。



10月7日、飯館村老人クラブ連合会と北塩原村老人クラブ連合会の交流会が開かれました。両連合会は震災後、毎年交流で絆を深めています。今年初めて飯館村内での交流が実現しました。

入札結果をお知らせします

入札日 / 8月26日 (単位: 円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
メモリアルホールいいたて指定管理業務	3,565,715円	(株)JAふくしま未来サービス	令和2年3月下旬
事業再開帰還促進事業「いいたて秋まつり」イベント業務	3,920,400円	飯館村商工会	令和2年1月下旬
【繰越明許】平成30年度ふくしま森林再生事業年度別事業実施計画作成業務	14,080,000円	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	令和元年11月下旬
被災地域農業復興総合支援事業効果促進事業 飯館村ライスセンター等用地造成工事	95,040,000円	仙建工業(株)福島支店	令和2年3月下旬
令和元年度第7号村道舗装機能回復工事(深谷字原地内外)	47,736,000円	濱田建設工業(株)	令和2年3月下旬
令和元年度第8号村道舗装機能回復工事(草野字赤坂地内外)	35,424,000円	庄司建設工業(株)	令和2年3月下旬
令和元年度第9号村道舗装機能回復工事(飯樋字町地内外)	48,924,000円	後藤建設工業(株)	令和2年3月下旬
令和元年度第10号村道舗装機能回復工事(小宮字反田地内外)	47,844,000円	庄司建設工業(株)	令和2年3月下旬
令和元年度第11号村道舗装機能回復工事(佐須字虎捕地内外)	47,952,000円	横山建設工業(株)	令和2年3月下旬
佐須大倉線落石防護網設置工事	8,208,000円	ミドリ環境建設(株)	令和2年1月下旬
令和元年度第1号河川除草事業(八木沢地内)	7,236,000円	濱田建設工業(株)	令和2年1月下旬
令和元年度第2号河川除草事業(白石地内)	1,242,000円	(株)英工務店	令和2年1月下旬
令和元年度第3号河川除草事業(佐須地内)	5,616,000円	(有)渡建工業	令和2年1月下旬
県道原町川俣線等改良工事(二枚橋工区)に伴う支障物件移設工事設計業務	842,400円	(株)東亜コンサルタント	令和2年1月下旬
特定復興再生拠点エリア地質調査業務	3,996,000円	庄建技術(株)	令和元年11月下旬

入札日/9月18日 (単位: 円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
財務会計・人事給与・起債管理システム機器賃借(長期継続契約)	41,863,800円	(株)福島県中央計算センター	令和5年3月下旬

入札日/10月1日 (単位: 円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
「いいたてルミナリエ」イベント業務	3,993,000円	飯館村商工会	令和2年2月下旬
宿泊体験館きこり空調設備凍結防止工事	2,310,000円	(有)長谷川電気工事	令和元年10月下旬
宿泊体験館きこり浴室棟機械室修繕工事	1,705,000円	(有)長谷川電気工事	令和元年10月下旬
もりの駅まごころ外部修繕工事	18,480,000円	(株)古俣工務店 川俣支店	令和2年1月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(施設機械) 関沢字道添地内外	16,500,000円	日本自動機工(株)東北支店	令和2年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(揚水場) 関沢字道添地内外	28,050,000円	(株)トーカン	令和2年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(施設機械) 関沢字道添地内外	48,950,000円	日本自動機工(株)東北支店	令和2年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(取水堰) 小宮字山辺沢地内外	21,065,000円	(有)渡建工業	令和2年3月下旬
地上デジタル放送再送信事業工事(第四期)	1,045,000円	(株)TTK	令和2年1月下旬

お知らせ

全国の信用金庫の力を結集し、地域経済の活性化を目指す「2019『よい仕事おこし』フェア」に、村が初出展。10月7・8日の2日間、会場となった東京国際フォーラム(東京都)で、カスミンウヤトルコギキョウ、アルストロメリアなど、村内産の花のPRを行いました。来場者からは、「ここまで復興したのですね」ともきれました。

いな花ですな」など、たくさん声をかけていただきました。村は、「よい仕事おこしフェア」実行委員会と、地域振興や復興促進に向けた包括連携協定を締結しています。10月19・20日には、実行委員会事務局の城南信用金庫の職員が村を訪れ、村内の現状を視察しました。

村産の花をPR! "よい仕事おこし"フェア



全国各地の「よい仕事」が集結した会場を村の花が彩り、笑顔の交流が生まれました



10月の村の動きと主なできごと

- 1日・川俣町小学校陸上競技大会に村の小学生が出場(いいたてスポーツ公園)
- 2日・賑わいづくり検討委員会(村役場)
- ・アクアマリン移動水族館(草野・飯樋・白石小学校)
- 3日・第3回行政区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 5日・移住者懇談会「モチヨルバル 飯館村づくり村民集会(交流センター「ふれ愛館」)
- 5・6日・GTFグリーンチャレンジ in 2019 新宿御苑」出展(東京都・新宿御苑)
- 6日・飯館村消防団 秋季検閲式(飯館中学校体育館)
- ・伊丹沢地区/二枚橋須賀地区作付再開計画等説明会(各集会所)
- ・大倉集落協定見直し作業説明会(大倉集会所)
- ・山中郷ウォークラリー(飯樋地区)
- 7日・「日本で最も美しい村」連合フォーラム(東京都・イタリア文化会館)
- 7・8日・『よい仕事おこし』フェア(東京都・東京国際フォーラム)
- 8日・明治大学農学部農政研修(ビレッジハウス)
- 10日・草野・飯樋・白石小学校の稲刈り(二枚橋地区)
- 12日・台風19号災害対策本部を設置(村役場)
- ・台風19号避難所を開設(村役場・ビレッジハウス)
- 12・13日・台風19号による水害・土砂災害発生(村内各所)
- 13日・宮内地区作付再開計画等集会(宮内集会所)
- 15日・土地改良区第1回臨時総代会(交流センター「ふれ愛館」)
- 16日・賑わいづくり検討委員会(村役場)
- 19日・「沖繩までの旅」第2回事後研修会(交流センター「ふれ愛館」)
- 20日・「未来への翼」北欧研修 第2回事後研修会(交流センター「ふれ愛館」)
- 21日・第10回農業委員会定例会(村役場)
- 22日・佐須地区営繕整備事業説明会(佐須公民館)
- 23日・第8回飯館村議会臨時会(村役場議場)
- ・第3回義務教育学校開校準備委員会(村役場)
- 24日・比曾地区作付再開計画等説明会(比曾集会所)
- 26日・いいたてつ子発表会「赤蜻祭」(飯館中学校体育館)
- 27日・道の駅までい館収穫感謝祭(いいたて村の道の駅までい館)
- ・いいたて秋まつり(交流センター「ふれ愛館」)
- ・いいたて村文化祭(学校エリア・交流センター「ふれ愛館」)
- ・飯樋町地区作付再開計画等集会(飯樋町集会所)
- ・定例教育委員会(村役場)
- 29日・第6回学校運営協議会(村役場)
- 30日・飯館村牧野組合協議会総会(交流センター「ふれ愛館」)

年は、財産

こころのぽけっと

近頃、会った人から「年は取りたくないもんですね」という言葉を聞くことがありました。そうなんです。気持ちはまだまだ若いつもりでも、体力や気力が少しずつ落ちていくというのを実感しているからであります。そのような言葉を聞く時、私はいつもある老人が言った言葉を思い出してしまいます。

「私から年を奪わないでください。なぜなら、年は私の財産なんですから」という言葉です。いくら年をとっても、それは自分が歩んできた自分なりの人生の歴史であり、素晴らしい財産なんだから、「年だ、年だ」と言わないでください。ということなのでしょう。

自分なりに大変な中、精一杯生きてきたんだという誇りでもありましょう。肉体的な成長はなくとも、人間的成長はいつまでもあるんだという強い意志の表れかも知れません。

また、「一生の終わりに残るものは、私たちが集めたものではなく、私たちが与えたものだ」という話も聞きます。そう考えると、この避難中、私たちは他の人になんか経験をしている訳で、考えようによっては、その経験は「財産」であるともいえます。

そのような財産をもっているゆえ、他の人にいろんな形の想いを少しでも与えていくことが、「年だ、年だ」と言わせないことにつながるのではと思えました。そうすると、大変な中ではあるが、これから先、「お互い様」的な考えをもって、自分の財産づくりをしていくことが、長生きの秘訣になるのかも知れません。

令和元年10月16日 飯館村村長 菅野 典雄

サポートセンター つながっぺ

きてみて

飯館村 つながっぺ

「つながっぺ」は村民の憩いの場。村の委託で飯館村社会福祉協議会が運営しています。送迎の都合上、利用できる曜日が行政区ごとに決まっていますが、送迎を利用しない場合は曜日に限らず利用できます。利用の際は、前日までにご連絡を。

飯館村伊丹沢字山田380番地 (いいたてクリニック内)

こんなところですよ…

- 毎週月曜日から金曜日 午前10時から午後3時まで
- 昼食代 1回360円
- 送迎は無料※行政区ごとに曜日が決まっています
- 事前に利用登録をしてください※要介護認定に関わらずどなたでも利用できます
- みんなでおしゃべりしたりカラオケで歌ったり、百歳体操やレクリエーション、四季折々のイベントを楽しんだりしています

入浴サービスもどうぞ!

午前10時20分～午前11時30分
※利用登録者で自力入浴可能な方が対象です
※無料 (タオル等持参)
※昼食希望の方は昼食代360円が必要です



百歳体操や軽運動をみんなですっきり!

おしゃべりや歌やゲームも一緒に!

まずはお電話で

問 つながっぺ ☎0244-26-5207



問 飯館村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021

上田和昌さんの

ラオス通信。

vol.6

急速な発展とエコヘルス教育(1)

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国? 上田さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ!

上田さんは山梨県の出身。ラオス国立大学で活動する青年海外協力隊の隊員です。



私はラオスで、2020年度の2月から、世界初の教科としてスタートする「エコヘルス教育」の普及に取り組んでいます。エコヘルス教育とは、日本という環境教育と健康教育を統合したような教科です。発展途上国のラオスでは、近年、急速な近代化・都市化が進み、環境問題や健康問題が顕在化しています。例えば、1960年代に国土の約70%だった森林面積は、2002年に41.5%にまで減少(日本は約66%です)。また、自動車の増加に伴う交通事故死亡者数も、2004年には115人だったのに対して、2010年には888人と増加しました(人口がラオスと同じ600万人台の千葉県では近年の交通事故死亡者数が200人前後)。エコヘルスプロジェクトは、そうした課題に対応するために始まりました。

社会や経済が発展していくと、その開発によって、生業、つまり生計を立てる手段が変化していきます。また、人間の生活様式、ライフスタイルも変わっていきます。例えば、多くの人が車を使ったり、電気を使ったり、森林を商業目的で伐採したり、生産性を高めるために農薬を使用したりということが生じます。その結果、生態系やそこに生きる生き物達がダメージを受けてしまい、人間の健康も損なわれてしまうのです。

開発や発展と、生態系、そして人間の健康には密接な関係があることを前提としたエコヘルスは、今までの健康の概念とは少し視点を変えた、新しい健康観と言えます。



混雑時の都市部の様子。車やバイクが増加し、大気汚染対策も進められています。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
小 椋 一二三	88	蕨平
高 橋 正 明	68	深谷
大 澤 フジヨ	96	上飯樋
今 野 美佐子	90	飯樋町
伊 藤 幸 雄	82	長泥
高 橋 精 一	91	二枚橋・須萱
佐 藤 政 安	71	前田

ご冥福をお祈り申し上げます

(9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
青 田 花 愛 ちゃん	大希・真恵	草野

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名	出身地
柳 生 博 紀	相馬市
和 田 千 恵 美	八木沢・芦原

いつまでもお幸せに

ひとのうごき

ひとのうごき (令和元年9月30日現在)		9月1日～30日までの人口動態	
人口	今 月 (前月比)	転入	6人
男	2745人 (-17)	転出	37人
女	2759人 (-18)	出生	2人
備 計	5504人 (-35)	死亡	6人
世帯数	1813戸 (+1)	(住民基本台帳人口)	

HOPES

ホープス セカンド
2nd

故郷を未来につなぐ米づくり

青田豊実さん(前田)



昨年から稲作を再開しました。地元の人々と協力し、地域で休耕している圃場も活用して、集落営農を行っています。この秋は、5haの食用米、4haの飼料用米と、モチ米を収穫します。

青田さんは、4人兄弟の末っ子。就農前は、東京で会社勤めをしていたそうです。その後、故郷へ戻り、両親と共に農業に励んでいました。「当時は、野菜、牛、米をやっていました。複合経営ですね」。そして、震災を経験。伊達市に避難した青田さんは、「いいたて全村見守り隊」に参加した後、村のICT(情報通信技術)職員として伊達東・相馬大野台の両仮設住宅に



豊かに実った稲穂が、秋の日差しに輝きます。「(作柄は) まあまあかな」と笑顔を見せる青田さん。大型コンバインを器用に操縦し、端からきれいに刈り取っていきました。※10/2取材

勤務。その後の2年間は、飯館村地域農業再生協議会の職員として、村の復興対策課に席を置きました。「農家に戻るまでのつなぎと考えていました。勉強にもなりませんでした」と振り返ります。

再開後は、苗を作らず直接水田に種モミを蒔く「直播」で稲作を行っています。「稲作は生産方法が確立されています。これからは、なるべく手をかけずにできる工夫が必要です」。収益の向上も目指し、水田は、「来年は15町歩に、翌年は20町歩に」と拡大していく計画です。

※1町歩は約1ha

「両親のやってきた農業。私も仕事をやめて、せっかく戻って来たのですから、地元でなければ再開する意味がなかったんです」と青田さん。「早く嫁さんをもらって、家族をつくって、次につなげられればいいですね」と、やさしい笑顔を見せました。

編集後記

● 大型の台風による甚大な被害が全国で発生しました。私たちは、何度も困難に遭っても立ち上がっていきましょう。ひとりじゃない。手を取ってくれる人がいること。あたりまえがいかにか大切に、ありがたみを知っているから。笑顔と故郷を取り戻すために、何度でも何度でも皆さんと共に歩ませてください。(木幡)

● 皆さんの力をお借りしなければ成り立たない広報取材。大きな災害の影響で、内容を変更した今号でさえ、さまざまにご協力をいただきました。ありがとうございます。本当にありがたいです。今回の被災でご苦労されている方にも、早く穏やかな日々が戻りますよう。また元氣な笑顔に会えますよう。願わずにはいられません。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。